



今季こそ、
一部へ

関甲新学生野球 2部リーグ戦

写真 本塁打を放った芳賀(右)と根本(左)

勝点 **3**

1戦目	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
本学	2	0	0	1	2	4	2	1	0	12
新潟大学	0	6	0	0	0	0	1	0	0	7
2戦目	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
新潟大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
本学	1	0	0	0	2	0	0	1	x	4

根芳賀
本塁打

2戦目 ソロ 1戦目 スリーラン



佐々木
初完封

2戦目

写真 2戦目を完封した佐々木

新潟大学戦
2勝0敗

当部は、関甲新学生野球・秋季リーグ戦4戦目となる新潟大学戦を2勝0敗で制し、勝ち点を3としました。

【1戦目 9/30】当部は初回、4番芳賀友喜(3年)の適時打で2点を先制しますが、2回裏、エース谷中規彦(3年)が連打を受け6失点。早くも2-6の危機を迎えます。しかし、その後、粘りを見せ、4回1点、5回2点と点を刻み、迎えた6回。1死から1番中根伶史(2年)、2番根本拓真(1年)が出塁し、悪送球から中根が生還。3番乾勝己(3年)の四球で1死2・3塁となったところを芳賀が3ラン本塁打を放ち8-7と逆転します。その後の回も追加点を重ねて突き放し、7回に1失点を許すも神尾龍二(1年)、横田卓己

(3年)の投手陣の踏ん張りで勝利を収めました。12-7。

【2戦目 10/1】当部は初回到1点を取り、5回に1死から6番澤田拓人(3年)が四球で出塁、8番湯浅猛(1年)がライト前に安打を放ち、試合の流れを作りました。相手バッテリーの乱れに乗じて澤田が生還。続けて9番寺西一樹(2年)の犠牲フライで合計2点を追加。8回には、2番根本拓真(1年)がソロホームランを放ち4-0で勝利しました。

なお、この試合は先発投手の佐々木亮(2年)が完封しました。佐々木は今試合がリーグ戦での初完投となりましたが、初完投を初完封で飾り、12奪三振で相手に余裕を与えず、被安打数を4に抑えました。(文・石井将太郎)

星取表 (2017年10月1日現在)

順位	大学	平成国際	埼玉	本学	松本	新潟	茨城	試合	勝	負	勝点	勝率	助-打
1	平成国際			☆☆	☆☆	★☆☆	☆☆	9	8	1	4	0.9	1
5	埼玉			★☆☆	★★★★	★★		8	2	6	0	0.3	2
2	本学	★★	☆☆☆			☆☆	☆☆	9	6	3	3	0.7	1
3	松本	★★	★☆☆				★☆☆	8	4	4	2	0.5	2
4	新潟	☆☆★	☆☆	★★				7	3	4	1	0.4	2
6	茨城	★★		★★	☆☆★	☆☆★		10	2	8	0	0.2	1

次回予告

対・松本大学戦

最終戦!

10/14(土),15(日)

会場：平成国際大学野球場